

昭和村社会福祉協議会昭和の里
地域密着型通所介護事業運営推進会議 報告書

日 時	令和8年9月14日（月） 14：00～14：40
場 所	昭和村総合福祉センター 生活指導室
出席者	構成員：兵藤みきえ(利用者)、吉澤博通（利用者の家族）、 藤井常男(民生委員児童委員)、 稲垣素美(村健康福祉課介護保険担当)、 野田勝也（(株)野田コミュニティケア代表） 事業者：新木敬司(会長)、新木卓巳(事務局長)、諸田和哉(管理者)
内 容	1. 開会 2. 挨拶 昭和村社会福祉協議会 新木会長 3. 協議題 ・令和7年度活動状況の報告及び評価 (1) 事業所概要説明及び令和7年度活動状況の報告(資料の通り) - 補足として、現在の利用状況も説明する。 - 現在、4名の100歳以上の利用者をはじめ、一番若い人で70代前半であること。今年度になり要支援から要介護に変更になる方が増え割合的にも要介護の方が増えている。 (2) 評価及び意見 ・要支援から要介護になるというのは状態悪化によるものなのか？ →基本的には状態の悪化もあるが、家庭の介護量や介護力でも生活状況が変わるためそこも起因するケースもある。 ・外出する事が減り、仲間との交流もなくなり、デイサービスが唯一の社会との関わりで、知人や他の方と関われることは本当にありがたい。定期的に通えることで機能回復が出来ていることは本人も家族も助かっている。 ・デイサービスは楽しく利用出来ている。ドライブで出かけるのが楽しみ。昭和村内の行ったことがないところに連れて行ってもらえるのも楽しみの一つ。強いて言えばお金をもっと出しても良いから美味しい物が食べたい。 →ドライブについては、1か月に1回位は出かけられるように取り組んでいるが、猛暑や冬の寒さが厳しいときなど実施できていない月もある。出かける場所等探すのに苦労しているが、今後なるべく出かける機会は作っていきたい。 4. その他 特になし
備 考	特になし